

スミセイ Vitalty カップ
JVA 第 45 回全日本バレーボール小学生県大会
競技上の注意事項

1 競技規則について

- ・この大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール規則を採用します。
- ・全試合3セットマッチとします。
- ・使用球は、公益財団法人日本バレーボール協会が公認する合成皮革軽量4号ボールを使用します。男子・混合は「モルテンボール（V4M5000-L）」女子は「ミカサボール（V400W-L）」とします。空気圧については6人制競技規則に準ずる（基本的には305hpa）。
- ・空気圧は基本試合前に、競技委員、審判委員で確認します。

2 28日の試合の進行について

- ・監督会議中について
監督会議中はボールの使用は不可であるが全チームによるアップ時間とする。監督会議終了後、風越公園総合体育館で全チームによる開会式を行う。
- ・風越公園総合体育館
開会式終了後、第1試合の2チームによる15分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第1試合終了後5分間をコートチェックの時間とし（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、第2試合の2チームによる15分間の合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第3試合以降は同様に繰り返し実施します。なお、2チームによるボールを使用しての合同練習は、対戦するチームのどちらかが1試合目の場合は15分間、両チームが2試合目以降であれば10分間とします。
- ・しらかば社会体育館・海瀬社会体育館
開会式終了後当該体育館へ移動します。移動後昼食およびミーティングを行い（ミーティング中はボール使用不可）、その後、12時を目途に第1試合の2チームによる15分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第1試合終了後5分間をコートチェックの時間とし（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、第2試合の2チームによる15分間の合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第3試合以降は同様に繰り返し実施します。なお、2チームによるボールを使用しての合同練習は、対戦するチームのどちらかが1試合目の場合は15分間、両チームが2試合目以降であれば10分間とします。

3 29日の試合の進行について

- ・監督会議中について
監督会議中はボールの使用は不可であるが全チームによるアップ時間とする。
- ・風越公園総合体育館
男女混合ベスト4チームによる男女は準決勝戦、3位決定戦、決勝戦。混合は準決勝戦、決勝戦を行う。
監督会議終了後、第1試合の2チームによる15分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第1試合終了後5分間をコートチェックの時間とし（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、第2試合の2チームによる15分間

の合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。男女3位決定戦、決勝戦、混合決勝戦は同様に繰り返し実施しますが、2チームによるボールを使用しての合同練習は、10分間とします。

- ・しらかば社会体育館・海瀬社会体育館

監督会議終了後、第1試合の2チームによる15分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第1試合終了後5分間をコートチェックの時間とし（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、第2試合の2チームによる15分間の合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第3試合（北信越大会開催県枠決定戦）は同様に実施しますが、2チームによるボールを使用しての合同練習は、10分間とします。

試合終了後北信越大会開催県枠を獲得した男女のチームは、風越総合体育館へ移動し閉会式を行う。

- ・全試合とも合同練習終了後両チーム選手は全員一旦ベンチに下がること。
- ・テクニカルタイムは、第1・第2セットはどちらかのチームが11点先取した時点、第3セットは、どちらかのチームが8点先取し、コートチェンジをした時点で行う。第1、第2セットでは、両チームが31点に達した時に適用し、その後は10点ずつ積み重ねた段階で適用する。3セット目は両チームが21点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。

4 エントリーについて

- ・エントリーについては、有効に登録された選手とし、受付時に構成メンバー表を提出願います。

5 チーム編成、服装について

- ・ベンチには監督（成人）、コーチ2名、マネージャー1名選手14名以内とします。
- ・監督、コーチ、マネージャー章は各チームで用意し必ず左胸に付けること。
また、ベンチ内の資格保持者全員試合中、資格証明書、県小連指導者登録済証を胸に掲げること。また、チームスタッフは本大会申し込時までにJVA-MRSに登録されている者とします。ベンチスタッフの服装に付いては統一とし、選手と同様にシャツを入れること。
- ・小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。また、Tシャツの色は他のベンチスタッフと同じような色でなくても良い。
- ・選手は怪我、盗撮のリスクもあることから。ユニフォームを入れること。
- ・アンダーウェアを着用する場合はユニフォームの袖や裾、首などからはみ出してはならないが、本大会は半袖のユニフォームからアンダーウェアがはみ出てもよい。ただし、全員が同じ色であること。
- ・公式練習時（合同練習時間を含む）の補助（ボール拾い等）はベンチスタッフと選手が行い、その他の者が補助を行うことはできない。

6 競技中の遵守すべき事項

- ・大会開催マニュアル廃止に感染対策等は各チーム、個人にて行うこととする。
- ・ベンチにはマスコット等の持ち込みは禁止する。飲料水、救急箱、対象管理用品とする。
- ・プロトコール開始からのあいさつや握手等については、コロナ前に戻す。
- ・ベンチ内のうちわ使用について試合間は認めます、。（タイムアウト・セット間）

7 応援等について

- 応援場所は各会場に指定された位置を当日指示します・
- 応援は発生または手をたたいてのみの応援は認めるが、応援グッズ（太鼓、ラッパ、メガホン、ペットボトル、うちわ）による鳴り物での応援は禁止します。また、足踏み等の応援も禁止します。メガホンを使用しての発生は禁止する。
- 応援はチームや選手への応援であり、判定に対するクレームや相手チームへの暴言・威嚇等はいけません。そのような行為が確認された場合は、厳正な対処をします。
- ビデオ撮影については、自チームの試合のみとする。但し、他の試合を撮影する場合は該当するチーム監督の了承を取ること。
- 写真撮影時のフラッシュはゲームの妨げになりますので禁止となります。
- SNS等の掲載は慎重に行うこと・

8 ワイピングについて

- 試合中のワイピングは、選手各自が小さなタオルを持って速やかに行うこと。
- モップ使用のワイピングを行い場合は、タイムアウト時、セット間はベンチの選手またはベンチスタッフが行うこと。テクニカルタイム時はベンチスタッフが行うこと。ない、時間の関係上センターライン側から行う。（監督さんから試合前に指導をお願いします）また、審判員の指示があった場合は随時行うこと。

以上